

一 対象 中学生

二 主題名 自然への畏敬の念

三 ねらい

人間の力を超えた自然の力に対する畏敬の念を深める。

(3―②)

#### 四 発達の段階と資料の特質

○ 中学生は、これまで自然の大切さについて学習したり、自然体験活動などを行ったりしてきているが、科学の進歩や都市化による利便性の向上への関心も高い。一方で、豊かな感受性が育ってくる時期でもあるので、この期の生徒の感性を磨くためにも、人知を超えた自然のもつ生命力の偉大さ、神秘さ、雄大さ、ありがたさ、人間の有限性などに気付かせ、自然に対する謙虚な姿勢を育てたい。

○ 本資料は、新燃岳の麓の町で暮らす祖父母を心配し、宮崎市で一緒に暮らそうともちかける主人公が、祖父から火山灰等に負けず生きる「ミヤマキリシマ」についての話を聞き、人間の力を超えた自然の力について改めて考えるところという内容である。主人公の心情の変化を感じることを通して、自然への畏敬の念を深めさせることができる。

#### 五 展開例

- 1 宿泊学習で行った登山体験の思い出を発表する。
- 2 資料「ミヤマキリシマ」を読んで、話し合う。
- (1) 祖父の家へ向かう由紀子はどんな気持ちだったでしょう。
- (2) 祖父の「ミヤマキリシマ」の話を聞いて由紀子はどんなことを考えたでしょう。
- (3) 新聞記事を読んだ由紀子はどんなことを考えたでしょう。
- 3 心のノート「悠久の時間の流れ この大自然・大自然に何を思う」のページを活用し、これまで自然ってすごいなと感じた経験を話し合う。

4 シートンの伝記を読んで感じた自然への畏敬の念について、教師の説話を聞く。

#### 六 指導上の留意点

○ 本資料は、「自然への畏敬の念」を高めることをねらいとしている。主人公の自然に対する考えにスポットを当て授業を構成する必要がある。

○ 「家族愛」「郷土愛」に関する指導にも本資料は活用できるが、その際、価値を混同しないように発問を精選する必要がある。

#### 七 参考資料等

- 新燃岳噴火に関する新聞記事（H23・2・12西日本新聞、H23・3・7宮崎日日新聞）を参考にしてストーリーを構成した。

【写真提供】森田敬三氏（ミヤマキリシマ）、高原町（新燃岳関係）